

# 資料No. 3

江田島市公共交通協議会  
平成30年6月19日

## 地域公共交通網形成計画の評価指標の中間検証について

### 1 目的

江田島市地域公共交通網形成計画第7章（P. 39）において、「江田島市の地域公共交通を持続的に発展させるため、江田島市公共交通協議会において、継続的に「PDCAサイクル」による評価・検証を行います。」と明記しています。

計画2年目となる平成29年度においても、計画事業の評価及び検証を行うことにより、次年度以降の計画事業の実施の方向性を位置づけ、計画事業の効果的・効率的な実施を図ることを目的とします。

### 2 計画の取組状況

別紙1を参照

### 3 評価指標の達成状況

別紙2により、各評価指標の達成状況と、その理由（原因）について考えられるものを記載しています。

(別紙1) 江田島市地域公共交通網形成計画の取組状況

| 計画の目標                          | 事業              | 取組事業  | 取組状況   |   |  |                       |                                  |  |
|--------------------------------|-----------------|---|--|---|--|-----------------------|----------------------------------|--|
|                                |                 |   | 28年度   | 29年度                                      | 30年度   | 31年度                  | 32年度                             |  |
| <b>目標1</b><br>最適な公共交通ネットワークの構築 | ①海上交通と陸上交通の連携強化 | 1 江田島市公共交通協議会での協議, 連携強化<br>2 ダイヤ改正時における相互調整や乗継案内の実施など<br>3 公共交通の利用促進イベント等の共同実施                | おれんじ号協議<br>覚書締結  | おれんじ号ダイヤ改正<br>覚書運用開始                      | おれんじ号協議  | バス・船を含めた連携強化に向けた協議の実施 |                                  |  |
|                                |                 | ②路線バス(幹線・支線)系統やダイヤの見直し  | 1 利用者等のニーズを踏まえた効果的・効率的な系統やダイヤへの見直し                           | ダイヤ改正検討                                   | バスダイヤ改正  | 効果的・効率的な系統やダイヤを検討実施   |                                  |  |
|                                |                 | ③おれんじ号の利便性向上  | 1 利用者等のニーズを踏まえた効果的・効率的な系統やダイヤへの見直し<br>2 利用者にとって利便性の高い乗降場所の検討 | ダイヤ改正検討<br>検討                             | おれんじ号ダイヤ改正<br>林山上への乗入開始                            | おれんじ号運行見直し検討          | 検討・実施・適宜見直し<br>地域住民や事業者の意見を参考に検討 |  |
| <b>目標2</b><br>交通結節点における機能の向上   | ①乗換環境の充実        | 1 船舶, 車両などにおける乗継情報の提供<br>2 運行状況に関する事業者間の相互連絡体制の構築<br>3 バス中継ターミナルの動線の改善, 上屋等の設置<br>4 情報提供設備の整備 | 公共交通マップ作成<br>覚書締結<br>検討・整備                                   | デジタルサイネージ運用開始<br>覚書運用開始<br>バスロケ・サイネージ運用開始 | その他提供方法について検討・実施<br>検討・実施・適宜見直し<br>設備の効果的な運用を検討・実施 |                       |                                  |  |

| 計画の目標                           | 事業                        | 取組事業                              | 取組状況          |                    |   |      |      |          |
|---------------------------------|---------------------------|-----------------------------------|---------------|--------------------|---|------|------|----------|
|                                 |                           |                                   | 28年度          | 29年度               | 30年度                                      | 31年度 | 32年度 |          |
| <b>目標3</b><br>利用環境の改善による利便性等の向上 | <b>①運賃負担感の軽減策の検討</b>      | 1 路線バスにおける上限運賃制度                  | 検討            | 引続き検討・実施・適宜見直し     |   |      |      |          |
|                                 |                           | 2 航路, 路線バス, おれんじ号の相互間利用における乗継割引制度 | 検討, 事業者協議     | 通学定期代補助制度(学割バス)の実施 |   |      |      | 検討・適宜見直し |
|                                 |                           | 3 商業施設等との連携した乗車券サービス制度            |               | 検討・実施・適宜見直し        |   |      |      |          |
|                                 | <b>②ICカードの導入</b>          | 1 PASPY 導入の検討                     | 検討, 事業者協議     | 引続き検討・実施・適宜見直し     |   |      |      |          |
| <b>③バリアフリー化の推進</b>              | <b>④分かりやすい公共交通情報の提供</b>   | 1 船舶や車両, 交通結節点などのバリアフリー化の推進       | おれんじ号車両更新(2台) | バス車両更新(2台)         | 船舶や車両の更新の際に, バリアフリー化を推進交通結節点などについては, 今後検討 |      |      |          |
|                                 |                           | 1 バス停や待合所での情報提供内容等の充実             | 検討・整備         | バスロケ・サイネージ運用開始     | バス停・棧橋待合所等での掲示の工夫を検討                      |      |      |          |
|                                 |                           | 2 携帯端末への情報の提供                     | 検討・整備         | バスロケシステム運用開始       | 効果的な運用を検討・実施                              |      |      |          |
|                                 |                           | 3 わかりにくいバス停の名称変更                  | 検討            | 名称変更実施             | 適宜見直し                                     |      |      |          |
|                                 | 4 公共交通マップの作成              | 検討, 作成                            | 配布            | 見直し配布              | 船・バス・おれんじ号のダイヤ改正時に内容の見直し                  |      |      |          |
| <b>目標4</b><br>観光の強化による利用者の増加    | <b>①公共交通を活用した観光ルートの開発</b> | 1 航路と路線バスを活用した観光ルートの開発            |               | 観光ルート市HP掲載         | 観光部署との連携, 新たなルート開発                        |      |      |          |

| 計画の目標                             | 事業                      | 取組事業   | 取組状況 |                                   |  |      |      |  |
|-----------------------------------|-------------------------|--|------|-----------------------------------|--|------|------|--|
|                                   |                         |  | 28年度 | 29年度                              | 30年度   | 31年度 | 32年度 |  |
|                                   | ②観光客に向けた情報発信力の強化        | 1 インターネットを活用した情報発信力の強化<br>2 観光情報等の多言語化<br>3 ラッピング車両等の導入  |      | 観光ルート市HP掲載<br>観光パンフ作成(観光振興課)      | 観光部署との連携, ネット配信の検討 等<br>BUSit 多言語対応, その他情報の多言語化検討<br>検討, 実施, 適宜見直し                       |      |      |  |
| <b>目標5</b><br>地域で公共交通を支えるための意識の醸成 | ①公共交通の利用促進と地域との意見交換会の開催 | 1 公共交通の現状や課題に関する情報提供<br>2 各種行事や広報などを活用した公共交通の利用促進<br>3 地域で公共交通を支えていくための仕組みづくりの検討<br>4 利用者と交通事業者, 行政などの関係者による意見交換会の開催 |      | 市広報誌への連載記事の掲載<br>利用者・行政との意見交換会の実施 | 情報提供の方法を検討・実施<br>イベント等の検討, 利用促進に向けた取組の検討・実施<br>地域住民の機運醸成と仕組みづくりを検討<br>事業者を含めた意見交換会の開催の検討 |      |      |  |

(別紙2) 評価指標の達成状況

| 目 標                        | 評価指標                           | 計画策定時の<br>現状値 (H27)    | 現状値 (H29)          | 目標値 (H32)            | 成果と今後の課題  |
|----------------------------|--------------------------------|------------------------|--------------------|----------------------|---|
| 目標1<br>最適な公共交通ネットワークの構築    | 航路利用者の前年比減少率                   | ▲4.2% (H26)            | ▲3.5%              | ▲3.5%以下              | 目標値は達成したものの、前年比で0.7%減少率拡大となった。評価指標の達成に向けて、引続き計画を推進する。                               |
|                            | 路線バスの年間利用者数                    | 70万人 (H26)             | 47万人               | 70万人以上               | 前年比▲1万人。人口減少が続く中で、いかに利用者を獲得するかが課題。  |
|                            | おれんじ号運行見直し基準（稼働率）の目標を達成した系統の割合 | 50% (H26)<br>(2系統/4系統) | 50%<br>(2系統/4系統)   | 75%以上<br>(3系統/4系統)   | 前年度と同じ割合。人口減少等に伴い利用者数も減少する中で、いかに新規利用者を獲得するかが課題。                                     |
| 目標2<br>交通結節点における機能の向上      | 乗換改善策の実施件数                     | —                      | 1件                 | 2件                   | 市内航路事業者及び江田島バスと、乗継改善に向けた取組に関する覚書を締結した (H28)。今後はいかに各事業者において、乗換円滑化に向けたダイヤ設定をしていくかが課題。 |
| 目標3<br>利用環境の改善による利便性等の向上   | 負担感軽減策の実施件数                    | —                      | 1件                 | 2件                   | 通学定期代補助制度の創設 (H29)。交通系ICカード導入に向けた検討を開始しており、引続き導入に向けて検討する。                           |
|                            | バリアフリー車両の導入率                   | 53.3%<br>(8台/15台)      | 66.6%<br>(10台/15台) | 80.0%以上<br>(12台/15台) | 江田島バスが車両2台を低床車両へ更新した (H29)。なお、評価指標の数値はバス車両のみだが、おれんじ号車両についても、2台をバリアフリー車両へ更新している。     |
|                            | 情報提供資機材の整備件数                   | —                      | 2件                 | 2件                   | 公共交通マップの作成及びバスロケーション等の導入を実施。目標値に達したが、今後も必要に応じて検討を行う。                                |
| 目標4<br>観光の強化による利用者の増加      | 年間総観光客数                        | 54万人 (H26)             | 63万人               | 70万人                 | 公共交通マップ及びバスロケーション等を作成・導入した。公共交通機関を利用した観光ルートを市HPに掲載した (H29)。これらの仕掛けを利用者増につなげられるかが課題。 |
| 目標5<br>地域で公共交通を支えるための意識の醸成 | 意見交換会の開催件数                     | 年間2回                   | 延べ6回               | 延べ10回以上              | 主におれんじ号のダイヤ改正に伴う出前講座を開催した。船やバスも含めた、気軽に意見を交換できる場の設定が課題。                              |
|                            | 地域が主体となった取組の件数                 | —                      | —                  | 2件                   | 昨年度は実績なし。利用促進に向けた啓発活動をどのように行い、意識を醸成できるかが課題。   |

